

第3章

生涯にわたる学習により、心豊かに輝く人のまち

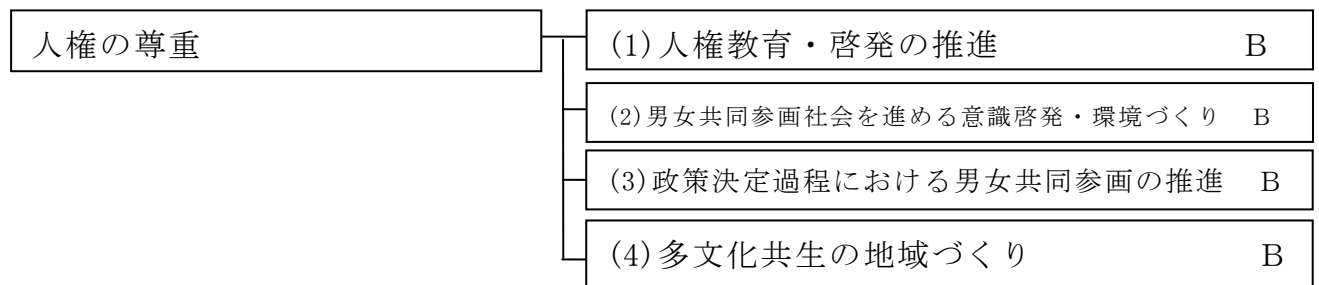
第3章 生涯にわたる学習により、心豊かに輝く人のまち

第1節 人権の尊重

すべての市民の基本的な人権の保障を基本に据えた取り組みを推進するとともに、人権意識の高揚を図るための教育・啓発に取り組めます。

また、男女があらゆる分野で性別にとらわれることなく、対等な立場で活動できる男女共同参画社会の形成に向け、意識啓発と環境づくりを進めます。

さらに、多文化共生の考え方にに基づき、様々な国や地域の人々との交流を進めるとともに、外国籍市民が暮らしやすい環境を整えます。



○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	0	4	0	0	4
主要事業	0	1	0	0	1

(1) 人権教育・啓発の推進（人権・市民相談課、生涯学習課）

- ◆あらゆる人権問題の解決を目指して、関係機関と連携・協力し、学校、家庭、地域、企業などを対象に、一人ひとりがお互いの違いを認め合い、尊重し合える社会づくりに向けた人権教育・啓発活動を積極的に進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・平成26年度に入間郡市同和対策協議会として「人権に関する意識調査」実施
- ・平成27年度の富士見市人権教育推進協議会は「人権に関する意識調査」で関心の高い「障がい者の人権」について取り組んだ。

《主な継続事業》

- ・新規採用職員を対象とした人権・同和問題研修会の実施
- ・管理職や企業等対象とした人権問題に関する研修会の実施
- ・人権擁護委員による、人権思想の普及高揚を図るための各種啓発活動の実施（人権作文・人権の花運動・人権の集い・視察研修）
- ・広報ふじみやホームページによる人権に関する啓発活動（人権週間・拉致問題を考える週間）
- ・広域の協議会による人権・同和問題に関する各種事業の実施（人権標語・人権フェスティバル・指導者養成講座）
- ・富士見市人権教育推進協議会の視察研修会、人権尊重教育講演会、社会人権指導者養成講座、啓発用品等の作成・配布

②課題

《新規課題》

- ・ヘイトスピーチ(※1)やLGBT(※2)等の新たな人権問題に対しての研修会の実施

《主な継続課題》

- ・広報ふじみやホームページ以外による人権に関する啓発活動
- ・外国籍市民の増加に伴う外国人の人権に対する研修会の実施
- ・講演会等に多くの方に来ていただくための工夫

※1ヘイトスピーチ

人種、国籍、宗教、性的指向、性別、障害などに基づいて個人または集団を攻撃、脅迫、侮辱し、さらには他人をそのように煽動する言論等を指す。

※2LGBT（エル・ジー・ビー・ティー）

女性同姓愛者（レズビアン、Lesbian）、男性同性愛者（ゲイ、Gay）両性愛者（バイセクシャル、Bisexual）、性同一性障害を含む性別越境者など（トランスジェンダー、Transgender）の人々を意味する頭字語である。

③進捗状況 B評価

人権教育・啓発の推進については、概ね順調に進捗しているものの、ヘイトスピーチやLGBT等の新たな人権問題に対する対応や、人権課題についてさらに多くの市民に関心をもってもらう工夫が必要であることからB評価とした。

(2) 男女共同参画社会を進める意識啓発・環境づくり（人権・市民相談課）

- ◆男女共同参画推進条例の基本理念に基づき、性別による固定的な役割分担意識を解消し、男女の人権が等しく尊重されるよう市民、企業、学校、地域などに向けた意識啓発を行います。
- ◆多様化する家族形態・就労形態に対応し、家事・育児・介護などにかかわる男女が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を確保できるよう環境づくりに取り組みます。
- ◆ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメントなどの根絶に向けて、男女がともに互いの人権を尊重しあう社会づくりを進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・男女共同参画講演会・セミナーの開催
- ・男女共同参画社会確立協議会の開催
- ・男女共同参画推進会議の開催
- ・男女共同参画啓発記事の広報掲載
- ・男性の子育てに関するガイドブックの配布
- ・DV相談及び被害者支援等にかかる庁内及び関係市町村との連携

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・講演会等のテーマを決める際の市民ニーズの把握
- ・講演会等の参加者数の拡大
- ・DV被害者支援に伴う相談体制の強化

③進捗状況 B評価

男女共同参画プランに基づき、男女共同参画庁内連絡会議による取組調査の実施や、男女共同参画社会確立協議会において調査結果の精査、「男女共同参画の推進に関する年次報告書」として結果を公表するなど順調に進捗している。

一方、市民意識調査では、男女共同参画に対する満足度は23.2%、不満度は16.0%、また重要度は68.6%で、前回調査より5.0ポイント増加しているものの、34施策中で最も低くなるなどの課題も残ることからB評価とした。

『男女共同参画推進事業』（人権・市民相談課） 男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画プラン（第3次）により、各施策を推進します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
・男女共同参画プラン（第3次）の推進	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	・男女共同参画プラン（第3次）の中間見直し →見直し実施	・男女共同参画プラン（第3次中間見直し版）の推進	
指 標	現 状 値	目 標 値	
	平成24年度 →平成27年度	平成28年度	平成30年度
各種審議会等の女性委員の比率	25.4% → 28.3%	40%	40%
進捗状況	男女共同参画プラン（第3次）については、男女共同参画社会確立協議会による審議及び提言、パブリックコメントを行うなど中間見直しを実施した。		
B評価	一方、指標である各種審議会等の女性委員の比率については、平成25年度26.1%、平成26年度27.0%、平成27年度28.3%と少しずつ上昇しているものの目標値には至っておらず、男女共同参画社会を進める意識啓発及び環境づくりに課題があることからB評価とした。		

(3) 政策決定過程における男女共同参画の推進（人権・市民相談課）

- ◆男女が対等な立場であらゆる分野に参画できるよう、政策決定など様々な意思決定過程に女性の参画を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・各種審議会等の女性委員の登用比率向上に向けた各課への対応依頼

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・審議会等の女性登用比率の向上

③進捗状況 B評価

審議会等における女性委員の登用比率については、平成25年度26.1%、平成26年度27%、平成27年度28.3%と少しずつ上昇しているものの、目標値である40%には至っていないことからB評価とした。

(4) 多文化共生の地域づくり

(人権・市民相談課、交流センター、生涯学習課、公民館)

- ◆ 国籍にかかわらず互いの文化的違いを認め合い、同じ地域の一員として協働によるまちづくりに努めます。また、NPO法人などの市民団体と連携し、多言語による行政情報の提供や外国籍市民への日本語指導などを充実します。
- ◆ 市民団体などによる国際交流を進めるとともに、相互理解の機会を充実します。

○ 外国籍市民の状況 (各年10月1日現在)

国籍	H24	H25	H26
韓国及び朝鮮	308人	292人	278人
中国及び台湾	661人	702人	767人
ブラジル	35人	34人	29人
フィリピン	261人	286人	292人
米国	20人	25人	21人
その他	219人	249人	293人
総数	1,504人	1,585人	1,680人

① 実績

《新規・拡充事業》

- ・ 国際交流フォーラムで行っている在日外国人の主張において、来場者からの質問を受付けるコーナーを設け、主張者と来場者双方の交流を図れるようにした。

《主な継続事業》

- ・ 国際友好協会の活動支援
- ・ NPO法人ふじみの国際交流センターとの協働により、パンフレットや市ホームページ等を通じた多言語による情報提供等
- ・ 国際交流フォーラムの実施 (市、教育委員会、国際友好協会の共催。異文化体験コーナー、写真パネルの展示、在日外国人の主張など) 参加者数一平成25年度約300人、平成26年度約400人、平成27年度約400人

② 課題

《新規課題》

- ・ なし

《主な継続課題》

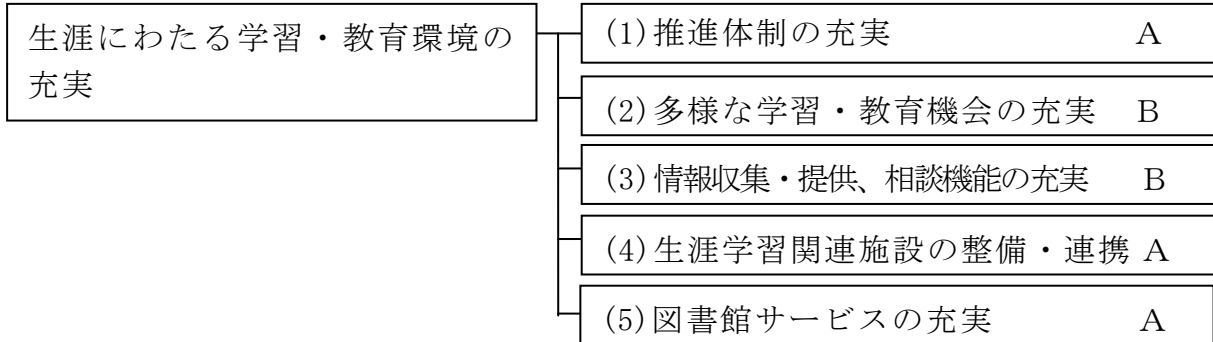
- ・ ホームページにおける多言語での最新情報の提供
- ・ 国際交流フォーラムの来場者数の拡大

③進捗状況 B評価

毎年、実施している国際交流フォーラムにおいては、多文化交流が図られるよう市、教育委員会、国際友好協会が連携し工夫はしているものの、来場者数が変わらないなどの課題があることからB評価とした。

第2節 生涯にわたる学習・教育環境の充実

市民一人ひとりが豊かな人間性を育むことができるよう、幅広い世代の多様な学習要求に応じた機会や情報の提供、施設間の連携など、学習・教育環境を充実します。また、学んだ成果が家庭や地域に還元され、豊かなまちづくりに活かせる仕組みづくりを進めます。



○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	3	2	0	0	5
主要事業	4	2	0	0	6

(1) 推進体制の充実（地域文化振興課）

- ◆子どもから高齢者まで幅広い世代にわたる学習・教育活動が展開されるよう、市民参加により「富士見市生涯学習推進基本計画」を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・市民協働（生涯学習推進市民懇談会）による第2次生涯学習推進基本計画の中間見直しの実施（平成27年～）

《主な継続事業》

- ・市民協働（生涯学習推進市民懇談会）による第2次生涯学習推進基本計画に基づいた事業の計画・実施、評価など

②課題

《新規課題》

- ・新たに取り組む生涯学習推進事業の検討

《主な継続課題》

- ・生涯学習推進市民懇談会の開催

③進捗状況 A評価

様々な分野の市民による「生涯学習推進市民懇談会」を開催し、第2次生涯学習推進基本計画の基本目標や施策の柱に基づいたこれまでの事業の見直しを行い、今後の5年間に向けての取り組む目標などを定めたことから、A評価とした。

『生涯学習推進事業』（地域文化振興課）		
第2次生涯学習推進基本計画に基づき、生涯学習の各施策を市民協働により進めていきます。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
<ul style="list-style-type: none"> 第2次生涯学習推進基本計画の推進 →継続中	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度
	<ul style="list-style-type: none"> 第2次生涯学習推進基本計画の中間見直し →継続中	<ul style="list-style-type: none"> 計画の推進
進捗状況	平成26年度に組織した、様々な分野の市民で構成する「生涯学習推進市民懇談会」において、計画の策定経緯や見直しのポイントの共有、社会情勢の変化などを勘案したうえで、第2次生涯学習推進基本計画の見直しを実施したことから、A評価とした。	
A評価		

(2) 多様な学習・教育機会の充実

(地域文化振興課、生涯学習課、公民館、交流センター)

- ◆ 乳幼児期から高齢期に至る各ライフステージや地域及び現代的課題の解決のために、様々な学習・教育の機会を充実します。
- ◆ 学習・教育の機会を通して人と人とがつながり、豊かな地域社会の実現に向けた活動に発展していくための支援を行います。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・ 第2次生涯学習推進基本計画に基づく様々な事業の計画・実施
- ・ 新たに南畑地域へ転入されてきた方や地域団体の意見等を伺い、企画運営委員会との協議による地域課題に即した新たな事業等の推進（南畑公民館）
- ・ 親の学習講座、サロン運営事業、健康づくり事業の拡充（水谷公民館）

《主な継続事業》

- ・ まちづくり講座（通称：出前講座）の実施（81メニュー）

年度	回数	受講者数
平成24年度	46回	2,967人
平成25年度	35回	2,249人
平成26年度	40回	2,049人

- ・ 市民人材バンクの推進

年度	登録件数	利用件数	延べ利用者数
平成24年度	213件	295件	19,768人
平成25年度	220件	246件	15,935人
平成26年度	226件	221件	17,071人

- ・ 子育てサロン、子育て講座、わんぱく広場(小学生対象の講座)、高齢者学級、市民生活講座、パソコン講座等の実施（各公民館）
- ・ 富士見市民大学、地域自治シンポジウム、平和憲法啓発事業、障がい者の学習機会充实事業の実施（鶴瀬公民館）

②課題

《新規課題》

- ・ 新たに取り組んでいく生涯学習事業の検討
- ・ まちづくり協議会の動向も踏まえた、地域づくりをさらに推進していく取り組みの検討・実施（南畑公民館）
- ・ 地域コミュニティの希薄化等を受けたまちづくり学習による地域再

生・活性化の支援（ふじみ野交流センター）

《主な継続課題》

- ・生涯学習推進市民懇談会の開催
- ・講師選定、運営スタッフの確保や負担増加、より幅広い世代が参加できるような企画の検討や工夫など（各公民館、交流センター）
- ・少子高齢化時代に対応する講座等の在り方（ふじみ野交流センター）

③進捗状況 B評価

各公民館や交流センターにおいて、各世代を対象に様々な学習・教育の機会が設けられ多くの地域住民が参画・参加しているが、講師やスタッフの確保、勤労世代を対象とした学習機会の提供、生活課題・現代的な課題に対しての学習機会の提供などの課題がある。

また、市民人材バンクは利用件数・利用人員・登録件数など、多少その年により変動はするものの、一定の利用があり、多様な学習機会を提供できている。

以上のことから、B評価とした。

『市民の多様な学習への支援』（公民館、交流センター）		
学習テーマに対応した講師などの紹介や日常生活に即した課題を解決するために各種学級講座を開催し、より豊かな生活のための学習・文化活動を充実します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
・講師などの紹介、 各種学級講座の 開催 →継続中	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度
	・講師などの紹介 ・学級講座の充実 →継続中	・講師などの紹介 ・学級講座の充実
進捗状況	各公民館や交流センターにおいて、各世代を対象に様々な学習・教育の機会が設けられ多くの地域住民が参画・参加しているが、講師やスタッフの確保、勤労世代を対象とした学習機会の提供、生活課題・現代的な課題に対しての学習機会の提供などの課題があることから、B評価とした。	
B評価		

○鶴瀬公民館 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
子育てサロン（通年）	1,325人	1,139人
子育てサロンサポーター養成講座	36人	25人
わんぱく広場	74人	87人
鶴瀬学級（通年）	252人	222人
介護予防事業 高齢者サロン事業（通年）	2,795人	2,523人
げんもりかん映画会	473人	699人
市民文化活動支援事業（市民演劇のつどい等）	2,094人	2,728人
地域自治シンポジウム	70人	70人
ピースフェスティバル	3,300人	3,300人

○南畑公民館 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
子育てサロン「ちびっこあおむし」	331人	514人
子ども事業企画「怪皆亭」	232人	242人
なんばた学級全体学級・全体会	493人	831人
なんばた青空市場	2,500人	2,500人
南畑ふれあい劇場	100人	140人

○水谷公民館 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
子育て学習支援事業「お母さんのステップアップ講座」	48人	63人
IT活用推進事業「障がい者PC学習室」	133人	129人
サロン運営事業「介護者サロンつぶやきカフェ」	51人	131人
健康づくり事業「健康ハイキング」	—	55人
里山ボランティア体験事業	—	69人

○水谷東公民館 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
子育てサロン	159人	197人
子ども公民館	35人	142人
子育て・親育ち講座	—	75人
豆の木学校	44人	27人
熟年学級全体会	387人	373人
やなせ川いかだラリー	37人	25人
学社連携事業（戦争体験語る・水害語りべ）	96人	111人
水谷東ふれあいサロン運営事業支援（介護予防）	2,662人	4,497人

○ふじみ野交流センター 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
わらのお正月飾り	15人	15人
食文化講座	10人	20人
ティータイムコンサート	100人	40人
土曜遊び広場	延 335人	延 324人
夏休み子ども遊遊パーク	165人	105人
勝瀬の七夕まつり	250人	220人
「にこにこ広場」支援	253人	163人
ふじみ野じゅく	延 247人	延 338人
利用者のつどい	—	68人
勝瀬 de 縁日	1,500人	2,000人
ふじみ野文化祭	1,100人	1,200人

○鶴瀬西交流センター 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
水曜学級（全体会）	(登録)208人	(登録)205人
フリースペース西っ子	親子 108組	親子 115組
子どもひろば等（夏休み・冬休み）	延 184人	延 126人
回想法講座	延 224人	延 210人
高齢者の健康料理講座	20人	24人
地域活性化のための子ども参加型事業	延 60人	21人
西交流センター・リラックスタイム	延 482人	延 285人
西交流センター縁日	1,200人	1,200人
西交流センターフェスティバル	5,100人	4,500人

○針ヶ谷コミュニティセンター 主な講座等実施内容と参加人数

事業名	25年度	26年度
筋力バランス力アップ教室	—	173人
ピアノ・クリスマスコンサート	135人	283人
針ヶ谷コミセン寄席	150人	236人
夏・冬休み小学生対象事業（工作・篆刻・書初め）	81人	72人
男の料理教室	—	14人
針ヶ谷・みずほ台コミュニティセンター合同文化祭	1,900人	2,200人

(3) 情報収集・提供、相談機能の充実

(地域文化振興課、生涯学習課、公民館、交流センター)

- ◆ 公民館・交流センターだよりをはじめ、市ホームページ等を活用し、生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習関連施設ごとに発信する情報を集約し、市民の求めに的確に対応できるように努めていきます。
- ◆ 市民の自主的な学習活動を支援するために、公民館、交流センターなどで相談機能の充実に努めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・ 富士見市生涯学習ガイドブックの作成（平成26年度）
- ・ 広報紙「ふじみ野EXPRESS」の周辺地域への全戸配布（年10回）
- ・ 施設案内リーフレット等の作成

《主な継続事業》

- ・ 広報ふじみやホームページ等での情報提供
- ・ 市民編集委員との協働による公民館だよりの編集・発行
- ・ ロビーにおける情報コーナーの整備や館内掲示スペースの活用
- ・ 事業や施設提供を始めとする相談機能体制
- ・ 利用者懇談会の開催

②課題

《新規課題》

- ・ 新しく転入してきた住民への情報発信
- ・ インターネットを活用した事業PR
- ・ 公共施設予約システムの活用

《主な継続課題》

- ・ 公民館だよりの内容の充実と発行回数の増加
- ・ 編集委員の増員
- ・ 市ホームページの計画的更新や掲載内容の工夫

③進捗状況 B評価

生涯学習ガイドブックの発行については、平成26年度から実施しているが、平成27年度はガイドブックの掲載内容や活用方法などについて課題等の検討を行い、平成28年度に新たな内容で発行する予定で進めている。

各公民館における公民館だよりについては、行政情報の発信、地域に関連する事柄や社会情勢なども織り交ぜながら、読者が興味を持つ

ような紙面づくりを行っている。

しかしながら、ホームページによる効果的な情報発信などに課題があることから、B評価とした。

『生涯学習活動推進援助事業』（地域文化振興課、生涯学習課） 市内の学習情報が一覧で分かる情報誌を発行します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
・市ホームページでの情報提供 →継続中	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度
	・情報誌の発行 →平成26年度作成	・情報誌の発行
進捗状況	市ホームページでの情報提供や、平成26年度には「富士見市生涯学習ガイドブック」を配布するなど、市民に多様な学習機会の情報を提供したが、平成27年度にガイドブックの掲載内容や活用方法などについて課題等の検討を行い、平成28年度に新たな内容で発行する予定で進めていることから、B評価とした。	
B評価		

(4) 生涯学習関連施設の整備・連携

(地域文化振興課、生涯学習課、公民館、交流センター)

- ◆各施設の計画的な維持管理を行うとともに、ユニバーサルデザインや情報化社会に対応した設備・機能の整備を進め、市民の誰もが利用しやすい施設を目指します。
- ◆公民館や交流センター、コミュニティセンターなどの生涯学習関連施設が地域の拠点施設としての役割・機能を発揮できるよう、ネットワーク化を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・キラリ☆ふじみの施設設備の経年劣化・機能劣化に伴う、大規模改修工事に向けた舞台設備改修調査及び改修診断書の作成（地域文化振興課）
- ・コミュニティセンターホール1階ロビー及び公民館ロビーの天井照明ランプのLED照明化（平成26年度）、給排水管更生工事（平成27年度）、舞台吊り物機構改修（平成27年度）（鶴瀬公民館）
- ・空調機器更新工事（平成27年度）（南畑公民館）
- ・給排水管更新工事、空調機器更新工事（1階系統除くすべての更新）高圧交流負荷開閉器更新工事等（平成26年度）（水谷公民館）
- ・複合施設内の各施設との連携及び調整（ピアザ☆ふじみ）

《主な継続事業》

- ・施設の経年劣化に伴う設備等の計画的な更新や修繕と備品更新

②課題

《新規課題》

- ・平成30年度に実施予定のキラリ☆ふじみの大規模改修工事に向けた各種対策の検討（日程、規模、休館中の利用者の対応など）
- ・ふじみ野交流センターとピアザ☆ふじみの一体的な運営

《主な継続課題》

- ・施設の経年劣化に伴う設備等の計画的な更新や修繕と備品更新
- ・改修工事に伴う施設の休館
- ・生涯学習関連施設のネットワーク化

③進捗状況 A評価

建物・設備の改修は、計画的に行われているため、A評価とした。

『公民館施設維持管理事業』			
安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインなどに配慮しながら、各公民館施設・設備の計画的な改修を進め、地域における生涯学習活動を推進します。			
計画策定時の状況と現況		事業計画	
・南畑公民館エレベーター設置工事、水谷東公民館耐震化、エレベーター設置、大規模改修 →改修済み	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	・施設の改修などの推進 →継続中	・施設の改修などの推進	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成24年度 →平成26年度	平成28年度	平成30年度
利用者数（延べ）	186,078人 →225,779人	230,000人	240,000人
進捗状況	建物・設備の改修は、計画的に行われているため、A評価とした。		
A評価			

(5) 図書館サービスの充実（生涯学習課）

- ◆市民ニーズに応えた図書資料や調査・相談機能、配本サービス等を充実し、地域の情報拠点としての機能を高めることに努めます。
- ◆子どもたちが発達段階に応じた読書の機会を通して豊かな心を養えるよう、家庭への支援や学校をはじめ関係機関、団体との連携を推進します。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・ 図書館まつりの開催
- ・ 中央図書館の夜間1時間の開館時間延長（試行）（平成27年度～）
- ・ 月曜日祝日の場合の開館（平成27年度～）
- ・ 子ども司書講座の実施
※実施自治体…埼玉県三郷市、春日部市庄和、千葉県八街市、柏市、
栃木県小山市、福島県矢祭町など
- ・ むいぐるみおとまりり会、図書館まつりにて受講した子ども司書による図書館ツアーの実施（平成27年度）
- ・ 図書資料受取サービスを提供する公共施設を追加（ピアザ☆ふじみ）
- ・ より分かりやすく情報が発信できるホームページに改修し、スマートフォン画面にも対応（平成27年度）
- ・ Webレファレンス開始予定（平成28年度）
- ・ 学校と連携し子どもたちの図書館利用登録を促進（平成28年度以降の予定）
- ・ 第3次子ども読書活動推進計画について、平成28年度に調査を行い、平成29年度に策定委員会設置
- ・ 平成29年度中央図書館改修工事（平成27年度設計）

《主な継続事業》

- ・ 指定管理者による管理運営
- ・ 公民館等公共施設での図書資料受取サービスを実施
- ・ 読み聞かせボランティアとの協働によるおはなし会を開催
- ・ 保護者や読書推進支援員を対象にした読み聞かせ講座を実施
- ・ 第2次子ども読書活動推進計画に基づく学校等との連携
- ・ 図書館まつりを全館合同で実施
- ・ その他事業
中央図書館：寄席、工作会、1日図書館員、小学生科学教室
鶴瀬西分館：絵本講座・語り聞かせ、子ども環境講座
ふじみ野分館：工作会

○ 3館の図書館利用状況等

	中央図書館		ふじみ野分館		鶴瀬西分館	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
開館日数(日)	301	301	303	303	303	303
登録人数(人)	2,039	1,996	441	454	527	263
利用人数(人)	98,322	98,281	30,273	30,807	17,168	17,808
貸出冊数(冊)	391,350	427,516	121,413	121,679	54,770	59,895
予約サービス数(点)	64,871	73,185	5,609	4,463	3,959	4,641

○ 乳幼児施設団体貸出状況

	25年度	26年度
貸出冊数(冊)	4,575	4,434

○ テーマ展示（季節行事や時事問題をテーマとした資料展示）

	中央図書館		ふじみ野分館		鶴瀬西分館	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
回数(回)	51	52	38	39	23	24

○ おはなし会

	中央図書館		ふじみ野分館		鶴瀬西分館	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
参加人数(人)	842	879	632	958	330	380
開催数(回)	45	44	23	25	24	24

② 課題

《新規課題》

- ・ 建設から20年以上を経過した中央図書館の改修

《主な継続課題》

- ・ 学校や地域住民との連携
- ・ 子どもたちの読書機会の充実に向けた取組み
- ・ 子ども司書講座受講後の活動についての検討

③ 進捗状況 A評価

地域の情報拠点としては、ピアザ☆ふじみでも予約資料の受取サービスを開始したことや、図書館まつりを開催し利用促進を図った。

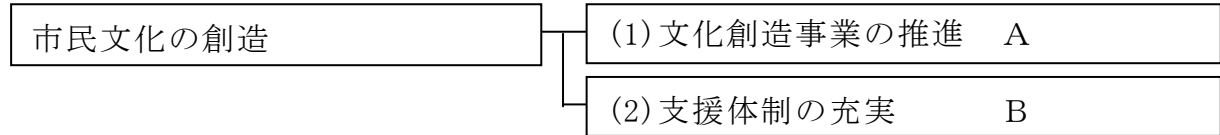
また、子どもたちへの読書推進としては、子ども司書講座の実施や、ぬいぐるみおとまり会といった新しい事業を展開し、子どもたちが本へ触れる機会を提供した。また、鶴瀬西分館併設のつるせ台小学校については、全学年の児童に対し利用登録を行うなど、着実に取り組みを進めていることから、A評価とした。

『子ども読書活動推進事業』（生涯学習課）		
読書に対して積極的な子どもたちを育成するため、「子ども読書活動推進計画」に基づき事業を推進します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
子ども司書講座の実施（プレ企画）	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度
	・子ども司書講座の実施 →継続中	—
進捗状況	平成25年度より、小学生こども一日図書館員を発展させた子ども司書講座の実施、平成27年度からは、ぬいぐるみおとまり会や、図書館まつりにて受講した子ども司書による図書館ツアーを実施するなど、順調に計画を推進しているため、A評価とした。	
A評価		

『市民ニーズにあった図書館サービス』（生涯学習課）			
市民にとって適切な書籍や資料の充実を図るとともに、電子書籍など新たなサービスについて検討し、地域の情報拠点として利用しやすく役立つ図書館を目指します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
・予約サービス、電子メールによる調査相談受付、音楽配信サービス、Webレファレンスの実施	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	・利用者サービスの研究、充実 ・空調改修工事 →継続中	・利用者サービスの研究、充実	
指 標	現 状 値	目 標 値	
	平成24年度 →平成26年度	平成28年度	平成30年度
図書館利用者数（延べ）	162,739人 →161,566人	165,000人	170,000人
進捗状況	平成26年度から、中央図書館の貸出冊数制限を10冊から20冊への変更や、DVD資料の館外貸出開始、図書館まつりの開催などを進めている。		
A評価	また、平成27年度に開館したピアザ☆ふじみでも予約資料の受取サービスの開始や、ホームページの改修、月曜日祝日の場合の開館など、着実に計画を進めていることからA評価とした。		

第3節 市民文化の創造

心豊かな生活が実感できるまちづくりを目指して、身近な地域で市民が芸術文化にふれ、自らが参加・創造・発信できるよう、市民文化会館キラリふじみをはじめ市内公共施設を拠点として活用します。さらに、市民との交流や協働の機会の充実により、地域文化の担い手を育成します。



○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	1	1	0	0	2
主要事業	1	0	0	0	1

(1) 文化創造事業の推進（地域文化振興課）

- ◆キラリふじみを富士見市の文化創造・発信の核として位置付け、すべての市民が身近に多様な文化芸術にふれられる機会の提供や市民相互の交流、文化の担い手の育成を進めます。
- ◆文化の主役である市民とともに、地域の誇りとなる優れた文化芸術を創造し、全国に向けて発信していきます。
- ◆富士見市から発信された文化芸術が、市内外の人との交流や活動の広がりをつくり、日常生活の充実や心の豊かさが実感できる文化振興を通じたまちづくりを進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・富士見市文化芸術振興基本計画の策定（平成26年9月）
- ・富士見市文化芸術振興アクションプランの策定（平成27年4月）

《主な継続事業》

- ・富士見市文化芸術振興基本計画及びアクションプランに基づいた各種施策の実施

②課題

《新規課題》

- ・富士見市文化芸術振興基本計画の評価と見直し（中間）

《主な継続課題》

- ・富士見市文化芸術振興基本計画及びアクションプランに基づいた各種施策の実施

③進捗状況 A評価

様々な分野の市民による「文化芸術振興委員会」を開催し、市民との協働で「富士見市文化芸術振興基本計画」を策定した。また、大学等の研究者との協働により「富士見市文化芸術アクションプラン」を策定し、様々な施策に取り組んでいる。

平成27年度より「子ども文化芸術大学☆ふじみ」や「小学校合唱部指導者派遣事業」等、新たな事業にも取り組んでいることからA評価とした。

『文化創造事業』（地域文化振興課）		
平成 24 年度に制定した文化芸術振興条例を文化創造・発信の核とし、条例に基づいた基本計画やアクションプランを策定・推進します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興条例策定 個性豊かな芸術文化の創造と提供 	平成 26 年度～28 年度	平成 29 年度～30 年度
	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興基本計画の策定、推進 文化芸術振興基本計画に基づくアクションプランの策定、推進 キラリふじみの改修計画の策定、実施 <p>→継続中</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興基本計画の推進 文化芸術振興基本計画に基づくアクションプランの推進 キラリふじみの改修計画の策定、実施
進捗状況	平成 24 年に制定した「富士見市文化芸術振興条例」の規定に基づき、平成 26 年 9 月に市民との協働で「富士見市文化芸術振興基本計画」を策定。更には平成 27 年 4 月に「富士見市文化芸術アクションプラン」を策定し、市民文化の創造を推進している。	
A 評価	<p>また、平成 30 年度に実施予定のキラリふじみ大規模改修工事に向けた舞台設備改修調査及び改修診断書を作成し、中・長期的な改修計画を策定し推進している。</p> <p>概ね順調に進捗していることから A 評価とした。</p>	

(2) 支援体制の充実（地域文化振興課、生涯学習課、公民館、交流センター）

- ◆ 市民文化祭をはじめとした各種の文化芸術活動を支援します。
- ◆ 市内公共施設を利用する文化活動団体・サークルなどの情報提供や、団体相互の交流の機会をつくり、市域全体に文化芸術活動の輪を広げます。

①実績

《新規・拡充事業》

なし

《主な継続事業》

- ・キラリふじみで行われる「富士見市民文化祭」や、交流センター、コミュニティセンター等において実施される文化祭など、地域住民や団体の文化芸術活動に対する様々な支援
- ・広報ふじみやホームページ、キラリふじみの広報、地域情報誌「たより」を通じた市民の文化芸術活動の情報発信
- ・公の施設利用団体・サークルの活性化や利用者の拡大
- ・利用者団体間の相互交流及び地域交流の促進
- ・地域の祭りや発表会、大会などの生涯学習活動への支援

②課題

《新規課題》

なし

《主な継続課題》

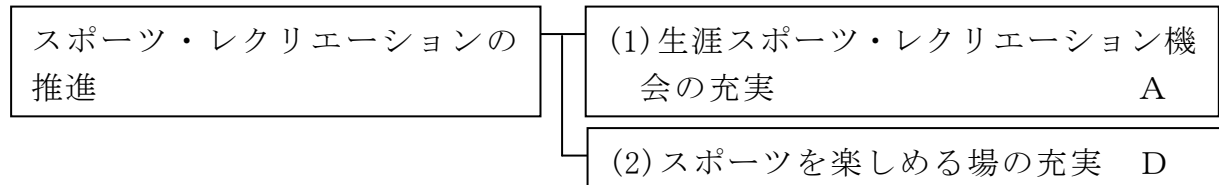
- ・文化芸術アクションプランに基づいた各種施策の実施
- ・実行（運営）委員会等への若い世代の参画
- ・若い世代、子育て世代の公の施設の利用拡大
- ・実施している事業内容の充実

③進捗状況 B評価

概ね順調に進捗しているものの、若い世代の施設利用の拡大や、実施事業の内容の充実に向けた取組みなどが課題であることからB評価とした。

第4節 スポーツ・レクリエーションの推進

誰もが健康で生きいきとした市民生活を送れるよう、年齢や体力にかかわらずスポーツ・レクリエーションに親しめる機会をつくります。また、市民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、指導者の養成、情報提供、施設環境の充実に取り組みます。



○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	1	0	0	1	2
主要事業	3	0	0	1	4

(1) 生涯スポーツ・レクリエーション機会の充実（生涯学習課）

- ◆年齢や障がいの有無にかかわらず、市民誰もがスポーツに親しむことを通して、豊かな生活や人と人との交流、地域の活力を生み出すことを目指し、「(仮称)富士見市スポーツ推進計画」の策定を進めます。
- ◆年齢や障がいの有無にかかわらず市民誰もがスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりや交流する機会を広げるため、スポーツ推進委員や各種スポーツ団体などと連携した地域スポーツ教室、スポーツイベントなどの事業を充実します。
- ◆地域における自主的なスポーツ活動を進めるため、相談・情報提供などの充実に取り組むとともに、地区体育祭や関係団体などの活動を支援します。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・子どもスポーツ大学ふじみの開催（平成26年度～）
- ・富士見市スポーツ推進計画策定にむけた審議開始（平成26年度～）

《主な継続事業》

- ・ラジオ体操の普及（平成25年度～）
- ・市民健康増進スポーツ大会の開催
- ・ヘルシーウォーク大会の開催（毎年5月実施）
- ・スポーツ大会出場選手等激励金

○主な地域スポーツ教室やスポーツイベントの内容と参加者数

内容	平成25年度	平成26年度
ラジオ体操教室	177人	108人
障がい者スポーツ教室	12人	15人
スポーツ指導者養成講座	—	52人
ふじみヘルシーウォーク大会	337人	320人
バドテニス大会	24チーム48人	24チーム48人
心肺蘇生法と自動体外式除細動器(AED)講習会	92団体 107人	171団体 137人
市民健康増進スポーツ大会	5,849人	6,248人

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・ラジオ体操普及指導員（資格取得者12名）の活動の充実

- ・富士見市発祥のスポーツ「バトテニス」の普及
- ・スポーツ大会出場選手等激励金の認知度の向上

③進捗状況 A評価

富士見市体育協会及び市スポーツ推進委員連絡協議会と連携しスポーツ事業を展開している。おおむね計画通りに進行しているのでA評価とした。

『スポーツ推進計画策定事業』（生涯学習課）			
本市のスポーツ振興について、中長期的な視点から進む方向性を明らかにし、関係団体、地域、行政などが連携し取り組むため、スポーツ推進計画を策定します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
—	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会の開催 ・アンケート調査 ・計画策定 →継続中	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の推進 	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成24年度 →平成27年度	平成28年度	平成30年度
市民意識調査 市民満足度	30.7% →29.8%	35% (平成27年度末)	—
進捗状況	スポーツ推進計画策定は、平成26年度から取り組みを始め、まず市民スポーツアンケート調査の実施した。平成27年度は、市内小中学生を対象にしたスポーツアンケート調査及び市内各公共施設で活動している団体に対しヒアリング調査を行うなど、市のスポーツ状況の把握に努め、現状と課題を抽出した。 計画策定については、概ね順調に進捗していることからA評価とした。		
A評価			

※平成27年6月現在、県内40市中、策定済は19市（47.5%）

『子どもスポーツ大学ふじみ推進事業』（生涯学習課）		
子どもたちの健全な発達を促し、将来への可能性を広げていくため、子どもスポーツ大学ふじみを開校します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
—	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度
	・子どもスポーツ大学ふじみの実施 →継続中	・子どもスポーツ大学ふじみの実施
進捗状況	平成26年度から事業を開始した。実行委員会が企画から当日の運営まで行っており、平成27年度も第2期目として6月から9月までの間で入学式及び修了式を含め7回開催した。	
A評価	近隣の淑徳大学や立教大学、大崎電気ハンドボール部、自衛隊体育学校等の協力を得て講座を開催している。 順調に事業が展開していることからA評価とした。	

『生涯スポーツ推進事業』（生涯学習課）			
日常生活におけるスポーツ・レクリエーション活動への参加機会を充実します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
・各種スポーツ教室・大会の開催 ・障がい者へのスポーツ体験の場の提供	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	・スポーツ教室・大会などの開催 ・ニュースポーツや高齢者も楽しめるスポーツの普及 ・障がい者のスポーツ体験 →継続中	・スポーツ教室・大会などの開催 ・ニュースポーツや高齢者も楽しめるスポーツの普及 ・障がい者のスポーツ体験	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成24年度 →平成26年度	平成28年度	平成30年度
健康増進スポーツ大会及び各種スポーツ教室・大会参加者数（延べ）	6,877人 →6,928人	7,000人	7,200人
進捗状況	スポーツ大会等は、市体育協会に健康増進スポーツ大会の開催を委託し実施しているが、市民総合体育館の閉館により室内競技の大会については、ふじみ野市や三芳町の体育館を借用しており、日程の都合で開催できない競技も発生している。		
A評価			

	<p>ヘルシーウォーク大会については、参加者も大きな増減なく推移している。また、ニュースポーツについては、市スポーツ推進委員連絡協議会と協働し、バドテニスやラケットテニスなどの普及に取り組んでいる。</p> <p>障がい者のスポーツについては、子どもスポーツ大学ふじみにおいて講座を開催するとともに、スポーツフェスティバル等において、障がい者のスポーツである「サウンドテーブルテニス」の体験などを行った。</p> <p>以上、概ね順調に計画が進捗していることからA評価とした。</p>
--	--

(2) スポーツを楽しめる場の充実（生涯学習課）

- ◆市民が身近な場所で安全にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、市民総合体育館や富士見ガーデンビーチ、運動公園などの施設について、市民ニーズに対応した環境整備を進めます。
- ◆学校体育施設の開放については、自主的に行われている学校体育施設開放運営協議会と連携して取り組みます。

①実績

《新規・拡充事業》

【市民総合体育館】

- ①復旧検討業務委託（平成26年度）
- ②屋根等撤去工事（平成26年度）
- ③サブアリーナ棟の暫定再開に向けた調査・修繕・工事（平成26年度）
※サブアリーナ棟暫定再開：平成27年1月9日
- ④復旧計画調整業務委託（平成27年度）
- ⑤市民総合体育館災害復旧・大規模改造工事設計業務委託（平成27年度）
- ⑥メインアリーナ棟災害復旧工事（平成28年度）
- ⑦サブアリーナ棟大規模改造工事（平成28年度）
- ⑧移動式バスケットゴール更新（平成28年度）
- ⑨トレーニング機器更新（平成28年度）
- ⑩体育備品更新（平成28年度）

【富士見ガーデンビーチ】

- ①場内床面張替工事（第3期）（平成26年度）※平成24～26年度工事
- ②改修工事設計業務委託（平成26年度）
- ③漏水調査委託（平成26年度）
- ④電気設備改修工事（平成27年度）
- ⑤改修工事（平成28年度）
- ⑥ウォータースライダー改修（平成28年度）

《主な継続事業》

- ・社会体育施設（学校開放体育施設を含む。）の維持管理
（市民総合体育館と富士見ガーデンビーチは指定管理者による管理運営）

②課題

《新規課題》

【市民総合体育館】

- ・メインアリーナ棟の早期復旧のための工事（工程管理を含む。）

- ・サブアリーナ棟の機能向上のための工事（利用者説明、工程管理、事務所移転の調整を含む。）
- ・トレーニングルーム改修後の運営方法の検討
- ・利用料金の見直し
- ・老朽化に伴う体育器具備品等の更新（移動式バスケットゴールを除く。）

【富士見ガーデンビーチ】

- ・利用料金の見直しの検討
- ・スライダープール着水エリアにおける安全対策の検討

《主な継続課題》

【富士見ガーデンビーチ】

- ・プール内塗装改修の検討
 - ※平成19年度：流水プール改修
 - ※平成22年度：子どもプール・50mプール改修

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市民総合体育館利用者数	126,416人	127,195人	109,563人 (注1)	10,914人 (注1)
富士見ガーデンビーチ入場者数	56,051人	71,639人	71,530人	60,480人
学校体育施設開放利用団体数	5,126団体	5,653団体	5,370団体	5,679団体
学校体育施設開放利用者数	106,002人	109,643人	116,218人	117,602人
運動公園(びん沼含)利用団体数	6,944団体	6,206団体	6,125団体	2,344団体 (注2)
運動公園(びん沼含)利用者数	40,831人	44,778人	41,114人	39,866人

(注1) 市民総合体育館利用者数…平成26年2月15日から平成27年1月8日までは全面休館。平成26年度はサブアリーナ棟のみの利用者数

(注2) 運動公園(びん沼含)利用団体数…平成26年度から利用団体数の計上方法を変更
 ※平成25年度まで：同団体が同一日に午前・午後の利用→2団体として計上
 ※平成26年度：同団体が同一日に午前・午後の利用→1団体として計上

③進捗状況 D評価

富士見ガーデンビーチと運動公園等については、おおむね順調に計画的な修繕・改修を行っている。

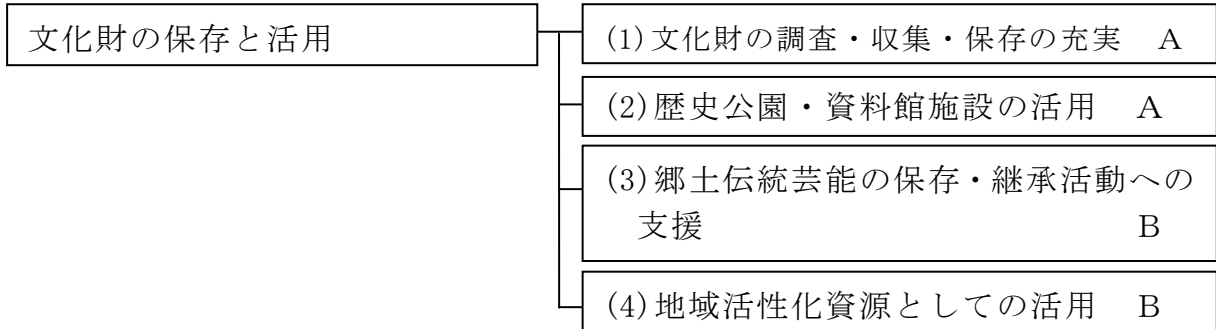
市民総合体育館については、市民総合体育館メインアリーナ屋根全面崩落事故に伴い、当初予定していた事業計画の大幅な見直しをせざるをえないことから、D評価とした。

なお、市民総合体育館の復旧・改修にあたっては、老朽設備の更新を含め、市民ニーズに応える施設となるよう事業計画の見直しを行いながら復旧・改修の取り組みを進めている。

『社会体育施設維持管理事業』（生涯学習課）			
市民の日常生活におけるスポーツ活動を活発にするため、市民総合体育館、ガーデンビーチ、運動公園などの施設環境を充実します。			
計画策定時の状況と現況		事業計画	
・社会体育施設の改修	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合体育館の外壁点検調査、移動式バスケットゴール更新 →復旧・改修工事 ・ガーデンビーチの設備改修 →継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンビーチの設備改修 	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成24年度 →平成26年度	平成28年度	平成30年度
市民総合体育館の年間利用者数（延べ）	127,195人 → —	140,000人	150,000人
進捗状況	富士見ガーデンビーチと運動公園等については、おおむね順調に計画的な修繕・改修を行っている。		
D評価	<p>市民総合体育館については、市民総合体育館メインアリーナ屋根全面崩落事故に伴い、当初予定していた事業計画を大幅に見直しせざるをえないことから、D評価とした。</p> <p>なお、市民総合体育館の復旧・改修については、老朽設備の更新を含め、取り組みを進めている。</p>		

第5節 文化財の保存と活用

市の歴史・文化資産を大切に保存、継承するとともに、郷土への愛着を深めるための取組みを進めます。また、市民との協働により、まちを活性化する資源として積極的な活用を努めます。



○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	2	2	0	0	4
主要事業	2	0	0	0	2

(1) 文化財の調査・収集・保存の充実（生涯学習課、資料館）

- ◆埋蔵文化財や有形・無形の文化財の調査・収集を着実に実施し、多様な歴史文化資源として保存・活用するための施策を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・文化財総合目録の作成（平成25～27年度）

《主な継続事業》

- ・埋蔵文化財包蔵地内における開発に伴い、事業主に指示・指導し、記録保存のための発掘調査や報告書の作成を行っている。
- ・市指定文化財のパトロール（年1回及び悪天候時）と管理者に対する助言等
- ・文化財台帳の整備と充実（随時）
- ・古文書等の歴史資料、農機具や家財道具等の民俗資料の収集と保管
- ・企画展等の展示活動を通しての資料の公開
- ・資料台帳のデジタル化の推進

②課題

《新規課題》

- ・文化財資料の蓄積による容量不足のための収蔵施設の整備

《主な継続課題》

- ・近年の発掘件数の増加に対応するための体制の充実（作業員の不足等）
- ・収集資料の保管場所の確保（特に民俗資料）

③進捗状況 A評価

順調に計画が進捗していることから、A評価とした。

『文化財総合目録作成事業』（生涯学習課）		
市全域における有形・無形の多様な歴史文化資源の全体像を把握するため、総合目録を作成します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
・文化財総合目録作成市民会議の開催	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財総合目録作成市民会議の開催 ・総合目録(概要版含む)の作成 <p style="text-align: center;">→継続中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目録の活用
進捗状況	文化財総合目録の作成については、平成25・26年度に作成委員会が6回の会議とワークショップ1回を実施し、資料の収集・検討を行い、平成27年度中に印刷予定であり、概ね順調に進捗していることから、A評価とした。	
A評価		

(2) 歴史公園・資料館施設の活用（生涯学習課、資料館）

- ◆市民との協働により、水子貝塚公園の復元住居や難波田城公園の古民家など歴史的建造物などの活用を促進し、学習機会を充実します。
- ◆市民の憩いや交流の場として活用します。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・水子貝塚公園開園20周年記念事業（平成26年11月2日）
来園者数約3,000人

【難波田城資料館・難波田城公園】

- ・旧金子家住宅茅屋根修繕
- ・水堀浚渫工事

《主な継続事業》

- ・水子貝塚公園内復元竪穴住居修理工事（5カ年）
平成25年度：15号復元住居、平成26年度：2号復元住居、
平成27年度：6号復元住居
- ・資料館の普及事業への協力（ジュニア考古学クラブ）
- ・市民学芸員の養成と展示ガイドなどの充実
（登録者数 水子貝塚資料館33人 難波田城資料館34人）
- ・各種企画展の実施
- ・学校連携（出前授業や社会科見学）

○水子貝塚資料館の主な事業と参加人数

事業名	25年度	26年度
企画展関連講座「ふじみ考古学教室」	65人	58人
体験学習	45人	34人
水子貝塚星空シアター	3,000人	3,000人
縄文の森コンサート	150人	120人
出張！ミュージアムランド	42人	46人
土曜おもしろミュージアムランド	657人	586人

○難波田城資料館の主な事業と参加人数

事業名	25年度	26年度
ふるさと体験	91人	86人
ちょこっと体験	3,112人	3,201人
田んぼ体験隊、古民家宿泊体験など	370人	346人
出前講座	320人	653人
難波田城公園まつり	3,600人	2,500人
いも掘り、古民家コンサートちよっ蔵市	470人	445人

②課題

《新規課題》

- ・水子貝塚公園は開園して20年、難波田城公園は15年を越えた施設であることから老朽化も進んできており、魅力ある歴史公園・資料館として活用するためのさらなる施設の整備・充実

《主な継続課題》

- ・市民学芸員や資料館友の会等との協働事業の充実

③進捗状況 A評価

順調に計画が進捗していることから、A評価とした。

『水子貝塚公園・難波田城公園運営事業』（資料館） 資料館や歴史公園を活用し、市民学芸員や資料館友の会などとの連携により郷土学習機会の提供と学習活動の支援に努めます。また、広報やホームページなどにより積極的に情報を発信します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習など主催事業を開催 ・協力団体との協働による事業の実施 ・復元住居改修工事（水子貝塚）、城跡ゾーン塗裝修繕（難波田城）など 	平成26年度～28年度	平成29年度～30年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・協力団体との協働の充実 ・施設を活用した事業の充実 ・復元住居改修工事（水子貝塚）、水堀土砂改修工事（難波田城）など、施設設備の修繕 →継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・協力団体との協働の充実 ・施設を活用した事業の充実 ・復元住居改修工事（水子貝塚）など、施設設備の修繕 	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成24年度 →平成26年度	平成28年度	平成30年度
<水子貝塚資料館> 入館者数（延べ）	40,472人 →44,169人	42,500人	42,500人
<難波田城資料館> 入館者数（延べ）	49,082人 →50,493人	50,500人	51,500人
進捗状況	入館者数が順調に伸びていることから、A評価とした。		
A評価			

(3) 郷土伝統芸能の保存・継承活動への支援（生涯学習課）

- ◆市内の伝統的な囃子や獅子舞など郷土芸能の保存、継承、後継者育成などを支援します。
- ◆市民の郷土伝統芸能への理解を深めるため発表の機会をつくり、郷土意識の高揚に取り組みます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・文化財保存団体連絡協議会の活動支援（道具修繕・後継者育成）

②課題

《新規課題》

- ・南畑八幡神社獅子舞保存会の休止

《主な継続課題》

- ・市指定文化財でもある伝統芸能の後継者育成
- ・伝統芸能を市民へ広くPRするための、普及機会の検討

③進捗状況 B評価

郷土芸能の保存や後継者育成の支援を進めていく必要があることからB評価とした。

(4) 地域活性化資源としての活用（生涯学習課、地域文化振興課）

- ◆市内の歴史公園や点在する指定文化財を整備・活用し、市民の地域への愛着を高めるとともに、市外にもその魅力を発信し、当市のイメージアップと市外からの来訪者を増やし、地域の活性化に取り組みます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・文化財総合目録の作成（平成27年度中に作成）
- ・歴史公園等をロケ地とした配布物の作成による魅力の発信
- ・地域の活性化を目的とした市民組織である地域活性化研究会（愛称ふじみ☆ラボ）が作成する観光アプリへの歴史公園・文化財の掲載

《主な継続事業》

- ・ホームページ等による文化財の紹介
- ・フィルムコミッションの対象施設として、映像を通じた魅力の発信

②課題

《新規課題》

- ・作成した文化財総合目録の基礎データ・教育資料として以外の活用の検討
- ・個々の資源の磨き上げや資源・関係部署の連携による全庁的な魅力発信の方法を検討する必要がある。
- ・配布物や観光アプリ等の定期的な情報更新

《主な継続課題》

- ・フィルムコミッションにおける撮影時の利用者と撮影業者との調整

③進捗状況 B評価

地域活性化研究会との連携により、観光アプリや観光マップの作成などに取り組んでいるが、ららぽーと富士見の開業により本市を訪れる方が増加しており、本市の情報をより積極的に発信していく必要があることから、B評価とした。

